

## 組立設置説明書

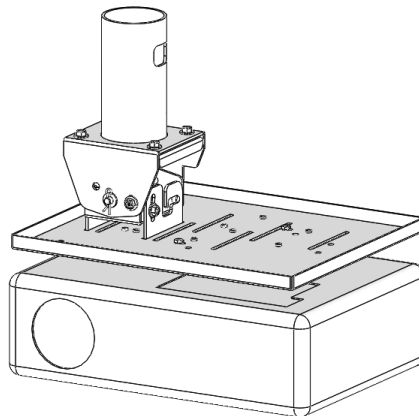
### お客様へ

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本機の取り付けには専門の技術が必要となりますので、販売店や施工業者に依頼してください。

### 施工業者様へ

お客様の安全のため取付場所の強度は、本機の荷重に耐えられるよう十分ご注意の上、設計施工をお願いいたします。取付場所の構造や強度は、設置環境により異なりますので、施工業者様が調査の上、最適な取付方法を選択し施工を行ってください。



絵は高天井用パイプキット タイプ1

### 設置にあたり

- ・ 「高天井用パイプキット タイプ1」と「パイプ タイプ1～タイプ8」の他、「天吊り金具タイプ1」または「天吊り金具タイプ2」が必要となります。
- ・ 本書は、それぞれの組立方法と設置方法の説明書です。

### もくじ

安全上のご注意	2～3
仕様	4～5
セット内容の確認	6
〈IPSiO PJ 天吊り金具 タイプ1〉	
組立要領	7～9
角度調整	10～11
〈RICOH PJ 天吊り金具 タイプ2〉	
組立要領	12～14
角度調整	15～16


この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ご使用後は大切に保管し、必要なときにお読みください。


## 安全上のご注意

### 安全のために、必ずお守りください。

本説明書ではお使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

- 表示内容を無視して誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 **警告** この表示の欄は、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示の欄は、傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容を示しています。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容を示しています。

## 警告



### 定期的に点検を依頼する

販売店または施工業者にご相談ください。  
搭載プロジェクターの変形がある場合は、ボルト等が緩んでいる可能性、もしくは天井等の亀裂、腐食、等が考えられ、その状態のまま使用すると搭載プロジェクターが落下する恐れがあります。



### 工事専門業者以外は取り付け、取り外し工事をしない

工事の不備により、本機が落下してけがの原因となります。



### プロジェクターハンガーにぶらさがったり、ゆすったりしない

本機または搭載物が落下する恐れがあります。



### 物を掛けない、プロジェクター以外搭載しない

本機または搭載物が落下する恐れがあります。



### 本製品に使用しているポリ袋などを乳幼児の近くに放置しないでください。

口や鼻をふさぎ、窒息する恐れがあります。



### 落下等の事故の原因になりますので、同梱された部品以外は使用しないで下さい。

## 警告



### 設置作業は必ず二人以上の作業者で行う

本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。  
また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。



### 長期使用を考慮して設置場所の強度を確保する

設置をする天井面は、本機に十分耐えうる強度を確保してください。強度が不足している場合は補強工事をおこなってください。取付ボルトを締め付ける際は、電動工具による締め付けはおこなわないでください。本機が落下し破損するだけでなく、死亡または重傷を負う恐れがあり大変危険です。



### 設置後の方向、傾斜調整は所定のボルトを緩めてから調整し、調整後は緩めたボルトを確実に締め付ける

設置後、所定のボルトを緩めずに方向・傾斜調整をすると、本機または塔載物が落下する恐れがあります。



### 塔載するプロジェクターは必ず所定取付位置に設定する

所定取付位置外で設定すると、本機または塔載物が落下する恐れがあります。

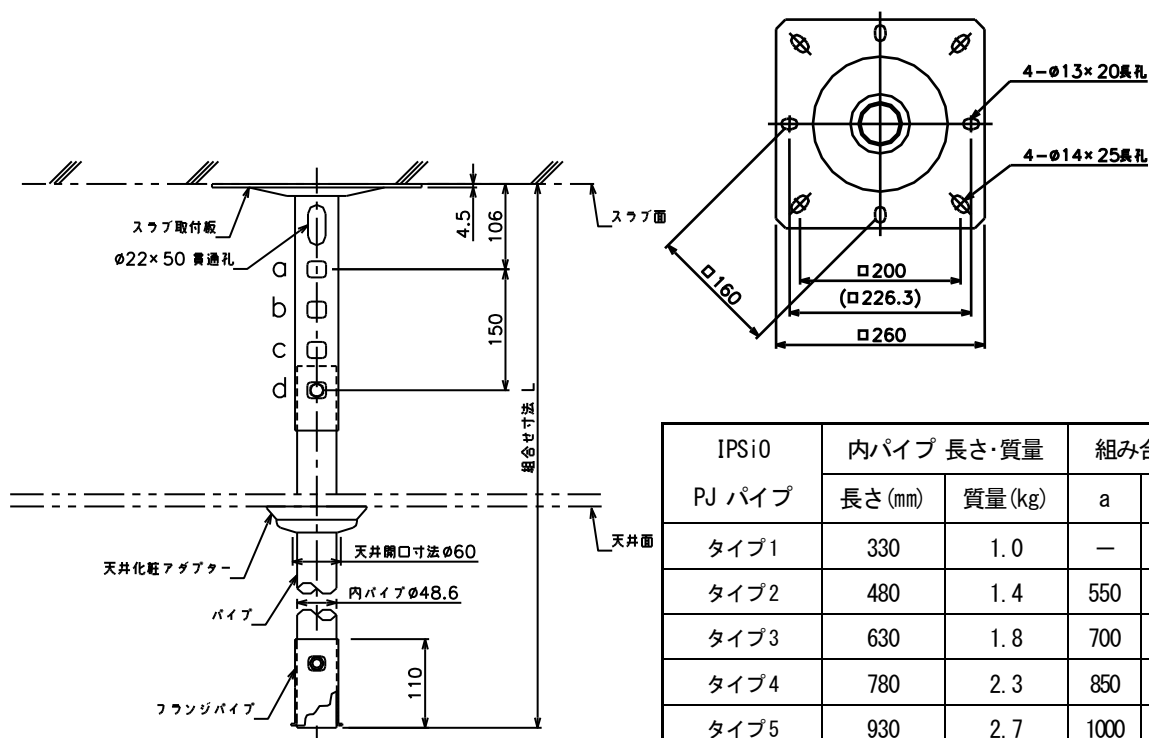
## 注意



プロジェクター設置にあたっては、プロジェクターの説明書と異なった設置条件での取り付けはしない

- 取り扱い上の不備、または天災等による事故・損傷について当社は責任を負いません。

# 仕様

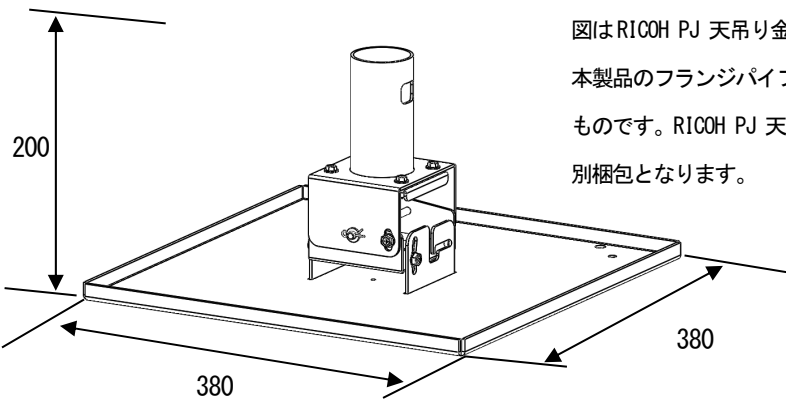


IPSi0 PJ パイプ	内パイプ 長さ・質量		組み合わせ寸法 L (mm)			
	長さ (mm)	質量 (kg)	a	b	c	d
タイプ1	330	1.0	—	450	500	550
タイプ2	480	1.4	550	600	650	700
タイプ3	630	1.8	700	750	800	850
タイプ4	780	2.3	850	900	950	1000
タイプ5	930	2.7	1000	1050	1100	1150
タイプ6	1080	3.1	1150	1200	1250	1300
タイプ7	1230	3.5	1300	1350	1400	1450
タイプ8	1380	4.0	1450	1500	1550	1600

商品名	IPSi0 PJ 高天井用パイプキット タイプ1 / IPSi0 PJ パイプ タイプ1~タイプ8 / IPSi0 PJ 天吊り金具 タイプ1		
製品寸法 (mm)	<p>図は IPSi0 PJ 天吊り金具 タイプ1に本製品のフランジパイプを組み付けたものです。IPSi0 PJ 天吊り金具 タイプ1は別梱包となります。</p>		
角度調整	上傾斜 10° 下傾斜 15° 左右傾斜 10°		
製品質量 (kg)	1.9		
最大搭載質量 (kg)	25		

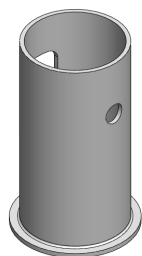
※プロジェクターの質量についてはプロジェクターの説明書をご確認ください。

※仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

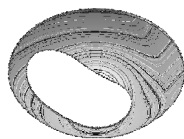
商品名	IPSi0 PJ 高天井用パイプキット タイプ1 / IPSi0 PJ パイプ タイプ1~タイプ8 / RICOH PJ 天吊り金具 タイプ2
製品寸法 (mm)	 <p>図はRICOH PJ 天吊り金具 タイプ2に本製品のフランジパイプを組み付けたものです。RICOH PJ 天吊り金具 タイプ2は別梱包となります。</p>
角度調整	上傾斜 10° 下傾斜 15° 左右傾斜 10°
製品質量 (kg)	5.9
最大塔載質量 (kg)	35

※プロジェクターの質量についてはプロジェクターの説明書をご確認ください。  
 ※仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

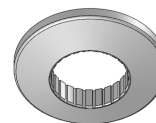
## セット内容の確認



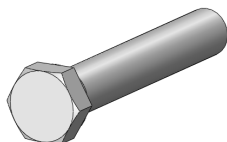
フランジパイプ ×1



天井化粧アダプター (上) ×1



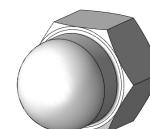
天井化粧アダプター (下) ×1



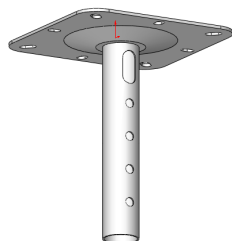
六角ボルト (M10×65) ×1



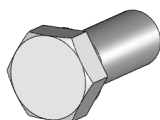
ばね座金 (呼び10径) ×1



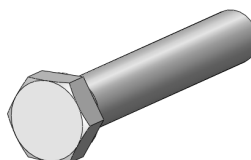
袋ナット (M6) ×1



スラブ取付板 ×1



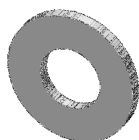
六角ボルト (M12×30) ×4



六角ボルト (M12×75) ×1



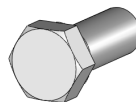
ばね座金 (呼び12径) ×1



平座金 (呼び12径) ×5



六角ナット (M12) ×1



六角ボルト (M10×30) ×4



平座金 (呼び10径) ×5



パイプ×1

パイプについては別梱包となります

## 警告

設置をする天井面は、本機に十分耐えうる強度を確保してください。強度が不足している場合は補強工事をおこなってください。

取付ボルトを締め付ける際には、電動工具による締め付けはおこなわないでください。

## 組立要領

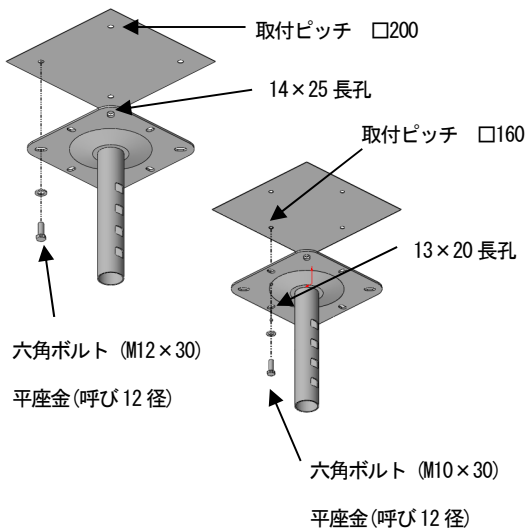
<IPSi0 PJ 天吊り金具 タイプ1の場合>

### 【はじめに】

- ・ 本製品は IPSi0 PJ 天吊り金具 タイプ1 と組み合わせることにより、天井懐が深くてもプロジェクターの設置が可能になります。
- ・ IPSi0 PJ 天吊り金具 タイプ1 の組み立て、設置方法については、IPSi0 PJ 天吊り金具 タイプ1 に同梱されている「組立設置説明書」を参照願います。
- ・ 部品には取付箇所、取付方向が決まっていますので、図及び説明文をよく確認の上、組み立ててください。
- ・ 組立作業にはあらかじめプラスドライバー及びスパナをご用意ください。

## 警告

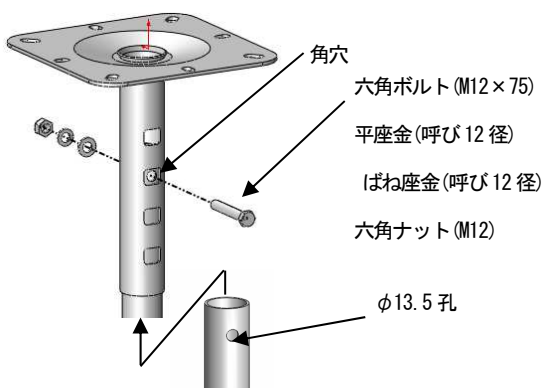
取付部分の下地の仕様、製品および製品積載物の重量により取付方法が異なります。製品を取付の際には適正な支持強度が十分保てる方法で施工してください。支持強度が不足の場合、落下する恐れがあります。



### ● パイプキットとパイプの設置

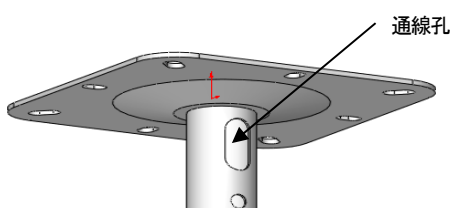
#### <<手順1>>

スラブ取付板の14×25長孔を使用して、六角ボルト(M12×30)、平座金(呼び12径)で4箇所共固定します。またはスラブ取付板の13×20長孔を使用して六角ボルト(M10×30)平座金(呼び10径)でスラブ埋込金具に4箇所共固定します。この場合、スラブ取付板は中心線に対して45°回転して取り付けます。



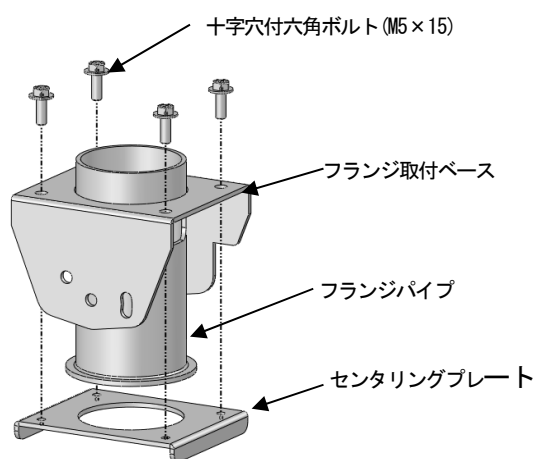
#### <<手順2>>

スラブ取付板にパイプ(φ13.5の孔があいている側)を差し込み、所定の高さ位置でスラブ取付板の角穴部より六角ボルト(M12×75)差し込みます。パイプ貫通後平座金(呼び12径)、ばね座金(呼び12径)、六角ナット(M12)の順で固定します。



#### <<手順3>>

ケーブルは通線孔を通してください。



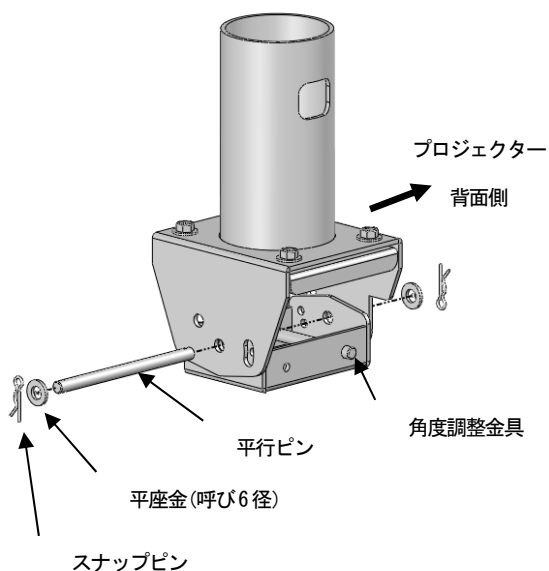
● ハンガーの天井への取り付け手順

フランジパイプを IPSi0 PJ天吊り金具 タイプ1に  
取り付けます。

<<手順1>>

フランジ取付ベース・フランジパイプ・センターリングプレート  
の順で付属の十字穴付六角ボルト (M5×15) 4本を通し、固定します。  
固定の際は、十字穴付六角ボルト (M5×15) を締めすぎないように  
してください。角度調整金具が入りにくくなります。

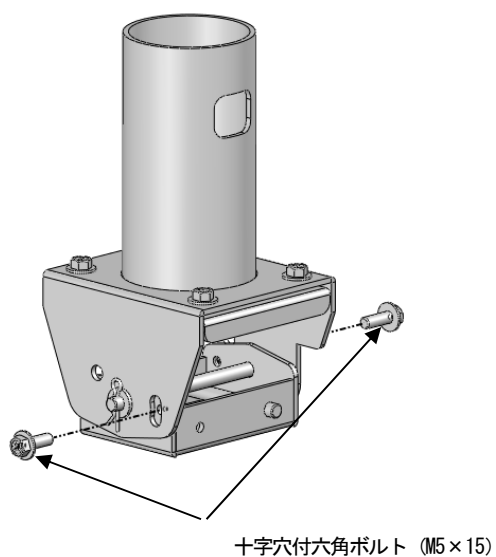
→フランジ取付ベース・センターリングプレート・十字穴付六角  
ボルト (M5×15) 4本は IPSi0 PJ天吊り金具 タイプ1に  
同梱されています。



<<手順2>>

角度調整金具をフランジ取付ベースに入れ、穴位置を合わせます。  
角度調整金具の角度調整軸が飛び出している方が、  
プロジェクター背面側になります。穴位置が合ったところで  
平行ピンを差し込み、平座金 (呼び6径)、スナップピンの順番  
で固定してください。(背面同様)

→角度調整金具・平行ピン・平座金 (呼び6径) ・  
スナップピンは IPSi0 PJ天吊り金具 タイプ1に  
同梱されています。

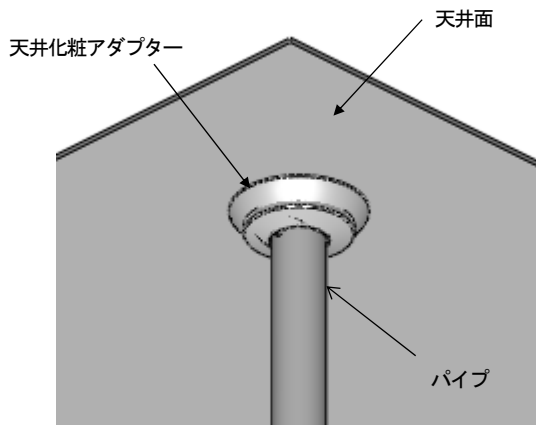


<<手順3>>

フランジ取付ベースと角度調整金具が水平になるように位置を  
合わせ、十字穴付六角ボルト (M5×15) で固定します。

→十字穴付六角ボルト (M5×15) は IPSi0 PJ天吊り金具  
タイプ1に同梱されています。

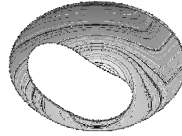




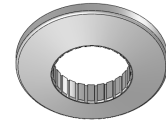
<<手順 4>>

天井化粧アダプター（上）をパイプに挿入し、次に（下）をパイプに挿入し取り付ける。

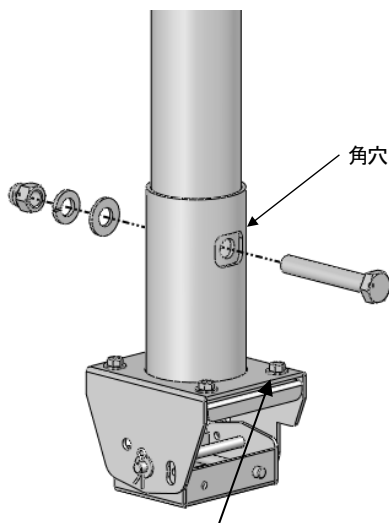
※ 天井化粧アダプターは塗装が剥がれ易いので、慎重な取り付け作業をお願い致します。



天井化粧アダプター（上）



天井化粧アダプター（下）



十字穴付六角ボルト (M5×15)

<<手順 5>>

フランジパイプをパイプに挿入し、フランジパイプとパイプの穴位置を合わせる。六角ボルト (M10×65) をフランジパイプの角穴側から、挿入し貫通させ、平座金 (呼び10径) ・ばね座金 (呼び12径) ・バネ座金・袋ナット (M6) にて固定する。

※ ボルト頭部は、必ずフランジパイプの角穴部に挿入して下さい。

※ 設置後の方向調整は十字穴付六角ボルト (M5×15) (4箇所) を少し緩めてから所定の方向に調整し、緩めたボルトを締付けて下さい。

## 角度調整

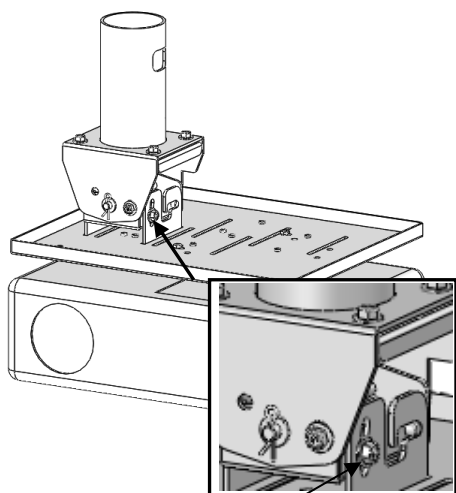
<IPSi0 PJ 天吊り金具 タイプ1の場合>

本製品はプロジェクターの傾斜角度を下傾斜 15°、上傾斜 10°、左右傾斜 20° で調整できます。また、回転方向はフリーとなります。



### 警告

プロジェクターの方向を調整する時は、ボルトを緩めすぎないようにしてください。  
調整後はボルトを固定したか再度確認をしてください。



十字穴付六角ボルト (M5×15)

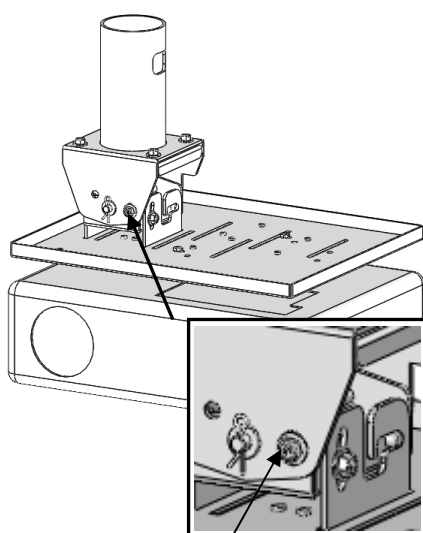
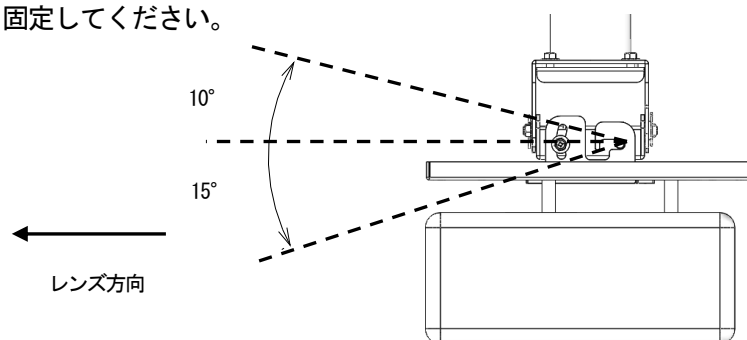
#### < 前後傾斜の調整 >

##### <<手順1>>

プロジェクター本体を下から手で支えながらハンガー（角度調整金具）の左右ボルト2本を角度調整ができる範囲まで緩めます。

##### <<手順2>>

プロジェクターをお好みの角度に合わせて、ボルトを固定してください。



十字穴付六角ボルト (M5×15)

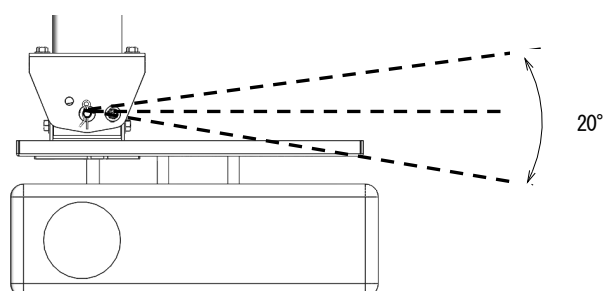
#### < 左右傾斜の調整 >

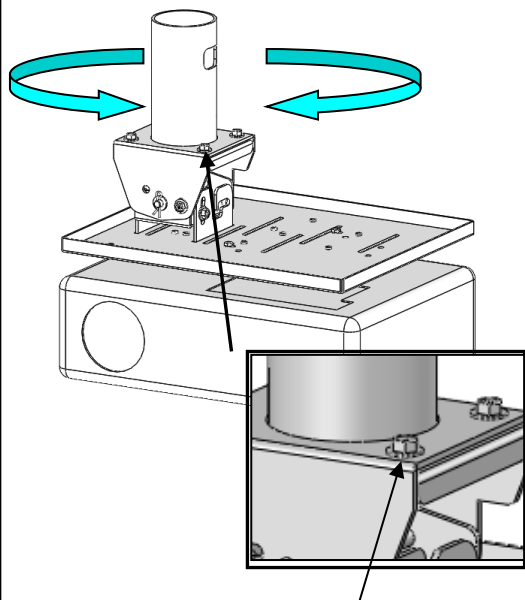
##### <<手順1>>

プロジェクター本体を下から手で支えながらハンガー（角度調整金具）の前後ボルト2本を角度調整ができる範囲まで緩めます。

##### <<手順2>>

プロジェクターをお好みの角度に合わせて、ボルトを固定してください。





十字穴付六角ボルト (M5×15)

## < 回転方向の調整 >

### <<手順1>>

ハンガー(角度調整金具)の上部にある六角穴付ボルト(M5×15)4本を角度調整ができる範囲まで緩めます。

### <<手順2>>

プロジェクターをお好みの位置に回転させて、再度ボルトを固定してください。

## 組立要領

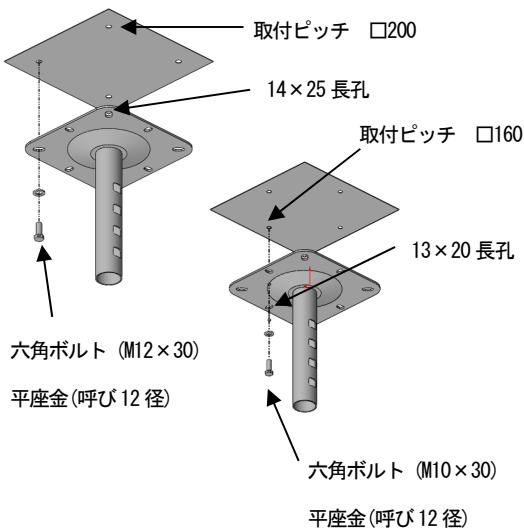
<RICOH PJ 天吊り金具 タイプ2の場合>

### 【はじめに】

- ・ 本製品はRICOH PJ 天吊り金具 タイプ2 と組み合わせることにより、天井懐が深くてもプロジェクターの設置が可能になります。
- ・ RICOH PJ 天吊り金具 タイプ2 の組み立て、設置方法については、RICOH PJ 天吊り金具 タイプ2 に同梱されている「組立設置説明書」を参照願います。
- ・ 部品には取付箇所、取付方向が決まっていますので、図及び説明文をよく確認の上、組み立ててください。
- ・ 組立作業にはあらかじめプラスドライバー及びスパナをご用意ください。

## 警告

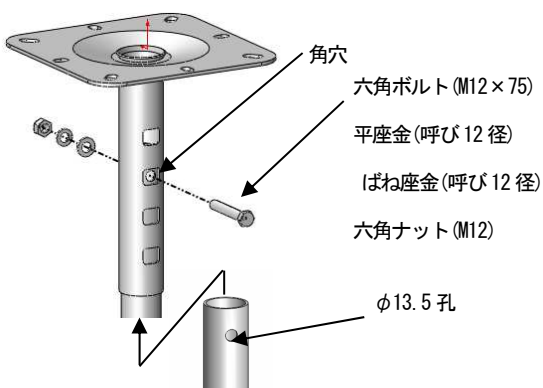
取付部分の下地の仕様、製品および製品積載物の重量により取付方法が異なります。製品を取付の際には適正な支持強度が十分保てる方法で施工してください。支持強度が不足の場合、落下する恐れがあります。



### ● パイプキットとパイプの設置

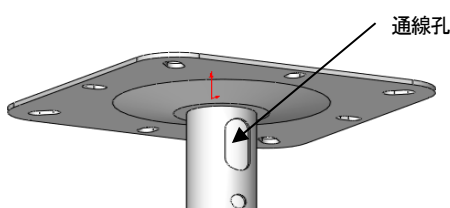
#### <<手順1>>

スラブ取付板の14×25長孔を使用して、六角ボルト(M12×30)、平座金(呼び12径)で4箇所共固定します。またはスラブ取付板の13×20長孔を使用して六角ボルト(M10×30)平座金(呼び10径)でスラブ埋込金具に4箇所共固定します。この場合、スラブ取付板は中心線に対して45°回転して取り付けます。



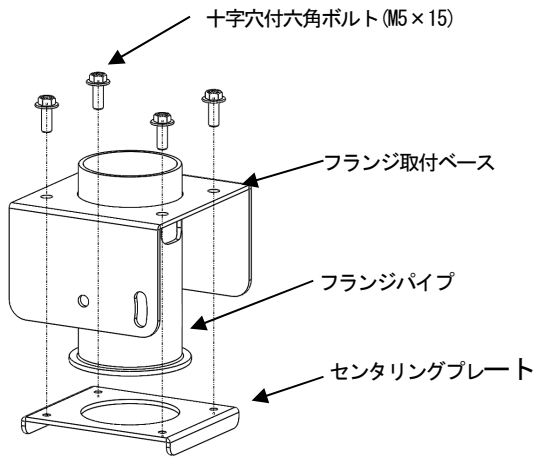
#### <<手順2>>

スラブ取付板にパイプ(φ13.5の孔があいている側)を差し込み、所定の高さ位置でスラブ取付板の角穴部より六角ボルト(M12×75)差し込みます。パイプ貫通後平座金(呼び12)、ばね座金(呼び12径)、六角ナット(M12)の順で固定します。



#### <<手順3>>

ケーブルは通線孔を通してください。



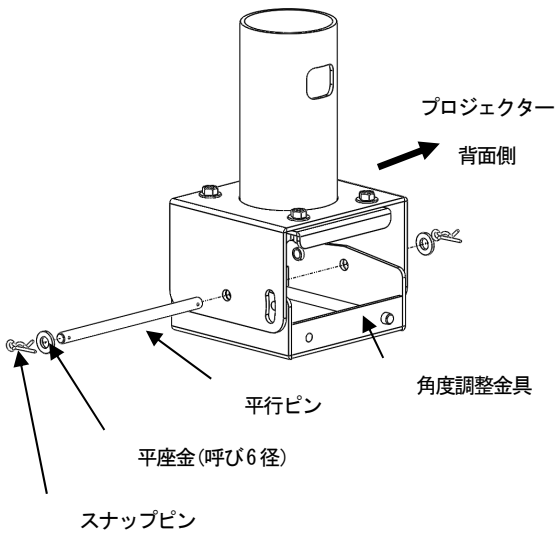
● ハンガーの天井への取り付け手順

フランジパイプをRICOH PJ 天吊り金具 タイプ2に  
取り付けます。

<<手順1>>

フランジ取付ベース・フランジパイプ・センタリングプレート  
の順で付属の十字穴付六角ボルト (M5×15) 4本を通し、固定します。  
固定の際は、十字穴付六角ボルト (M5×15) を締めすぎないように  
してください。角度調整金具が入りにくくなります。

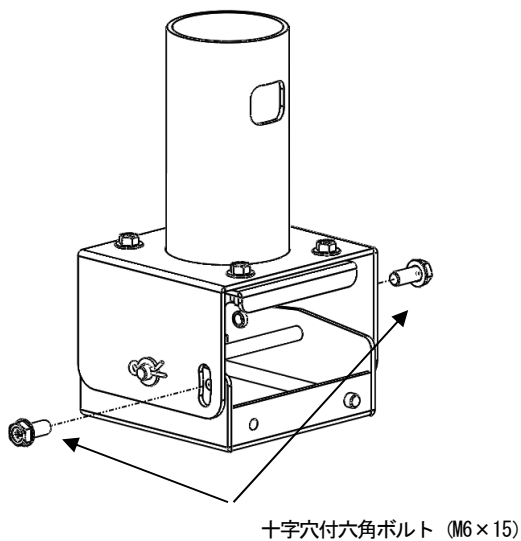
→フランジ取付ベース・センタリングプレート・十字穴付六角  
ボルト (M5×15) 4本はRICOH PJ 天吊り金具 タイプ2に  
同梱されています。



<<手順2>>

角度調整金具をフランジ取付ベースに入れ、穴位置を合わせます。  
角度調整金具の角度調整軸が飛び出している方が、  
プロジェクター背面側になります。穴位置が合ったところで  
平行ピンを差し込み、平座金 (呼び6径)、スナップピンの順番  
で固定してください。(背面同様)

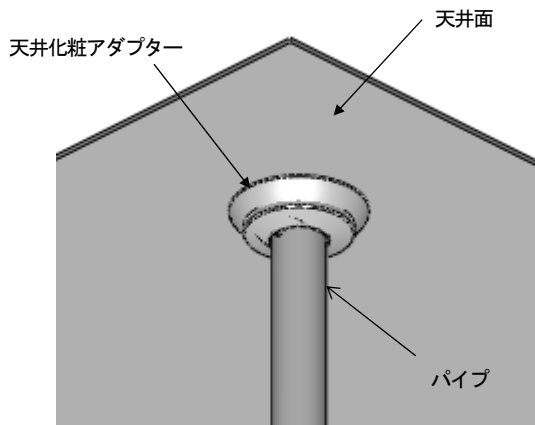
→角度調整金具・平行ピン・平座金 (呼び6径) ・  
スナップピンはRICOH PJ 天吊り金具 タイプ2に  
同梱されています。



<<手順3>>

フランジ取付ベースと角度調整金具が水平になるように位置を  
合わせ、十字穴付六角ボルト (M6×15) で固定します。

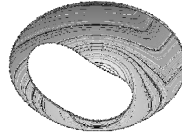
→十字穴付六角ボルト (M6×15) はRICOH PJ 天吊り金具  
タイプ2に同梱されています。



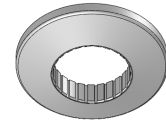
<<手順4>>

天井化粧アダプター（上）をパイプに挿入し、次に（下）をパイプに挿入し取り付ける。

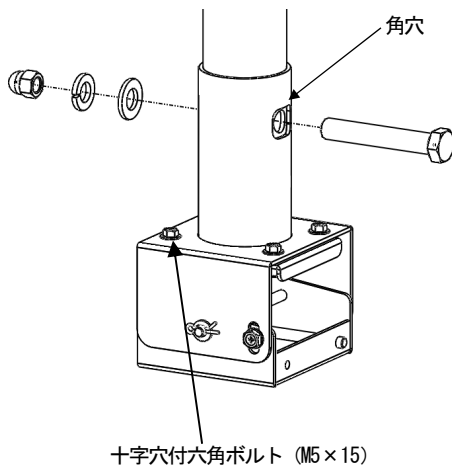
※ 天井化粧アダプターは塗装が剥がれ易いので、慎重な取り付け作業をお願い致します。



天井化粧アダプター（上）



天井化粧アダプター（下）



<<手順5>>

フランジパイプをパイプに挿入し、フランジパイプとパイプの穴位置を合わせる。六角ボルト（M10×65）をフランジパイプの角穴側から、挿入し貫通させ、平座金（呼び10径）・ばね座金（呼び12径）・バネ座金・袋ナット（M6）にて固定する。

※ ボルト頭部は、必ずフランジパイプの角穴部に挿入して下さい。

※ 設置後の方向調整は十字穴付六角ボルト（M5×15）（4箇所）を少し緩めてから所定の方向に調整し、緩めたボルトを締付けて下さい。

## 角度調整

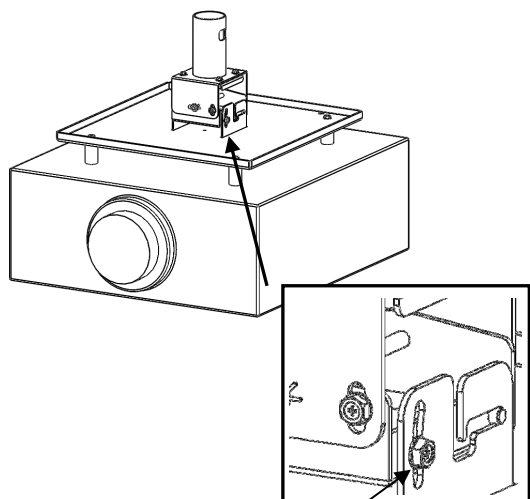
<RICOH PJ 天吊り金具 タイプ2の場合>

本製品はプロジェクターの傾斜角度を下傾斜 15°、上傾斜 10°、左右傾斜 20° で調整できます。また、回転方向はフリーとなります。



### 警告

プロジェクターの方向を調整する時は、ボルトを緩めすぎないようにしてください。  
調整後はボルトを固定したか再度確認をしてください。



十字穴付六角ボルト (M6×15)

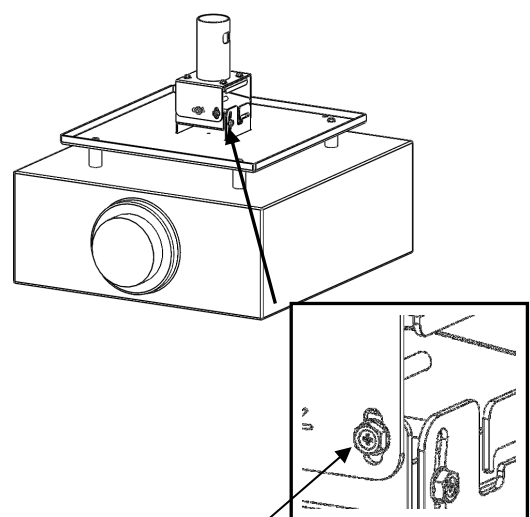
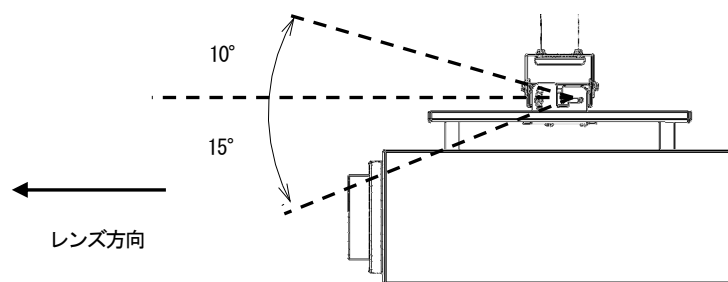
#### < 前後傾斜の調整 >

<<手順1>>

プロジェクター本体を下から手で支えながらハンガー（角度調整金具）の左右ボルト2本を角度調整ができる範囲まで緩めます。

<<手順2>>

プロジェクターをお好みの角度に合わせて、ボルトを固定してください。



十字穴付六角ボルト (M6×15)

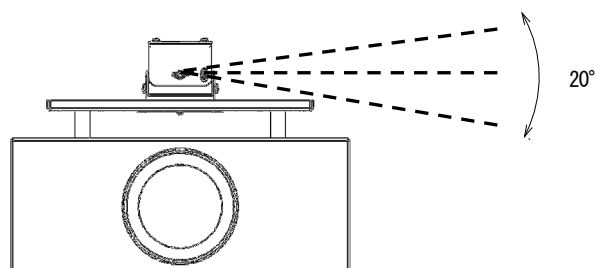
#### < 左右傾斜の調整 >

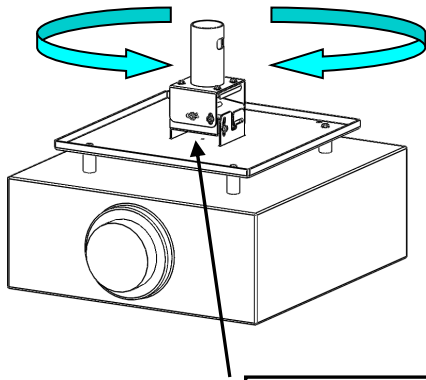
<<手順1>>

プロジェクター本体を下から手で支えながらハンガー（角度調整金具）の前後ボルト2本を角度調整ができる範囲まで緩めます。

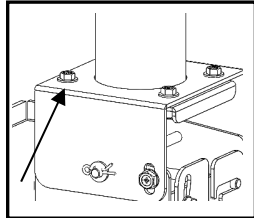
<<手順2>>

プロジェクターをお好みの角度に合わせて、ボルトを固定してください。





十字穴付六角ボルト (M5×15)



## < 回転方向の調整 >

### <<手順1>>

ハンガー(角度調整金具)の上部にある六角穴付ボルト(M5×15)4本を角度調整ができる範囲まで緩めます。

### <<手順2>>

プロジェクターをお好みの位置に回転させて、再度ボルトを固定してください。